



©2001
スタジオジブリ

能登半島地震/令和6(2024)年



その時のために

今

できることを



関東大震災/大正12(1923)年



東日本大震災/平成23(2011)年

日本は古くから幾多の大地震に見舞われ、そのたびに甚大な被害を受けてきました。元日に北陸を襲った能登半島地震は、今なお生活再建や復興の途上にあります。いつ起きるとも知れない震災に備え、家庭でも今すぐできる取り組みを2~3面で紹介します。

☎防災課 ☎0422-24-9102

能登半島地震の写真は、罹災証明の発行のため派遣された三鷹市職員が撮影した2月の現地の様子です。

市長コラム

災害への備え



三鷹市長 河村 孝

「関東大震災から100年」の節目であった昨年、幸いなことに大規模な災害は発生しませんでした。「何とか1年を無事に乗り越えた」と、大みそかに除夜の鐘を聞きながらほっとしたことを覚えています。ところがその翌日、元日の能登半島を大地震が襲いました。最近では、台湾、四国と続けざまに大きな地震があり、不安は増すばかりです。

災害に立ち向かうには、「自助・共助・公助」

の組み合わせと、それぞれの役割に沿った日ごろの備えが大切です。「自助」でいえば食料の備蓄や家族との連絡手段などの確認。ご近所や町会でのお付き合いは、いざという時の「共助」にもつながります。「公助」の視点では避難所の設置・運営は切迫した課題で、設置場所や体制を拡充する必要があると考えています。いつ起きてもおかしくない災害に備えるため、対策をもう一歩前に進めるべき時が、今です。

YouTubeで配信中

